

カリキュラムとGraduation Policy(GP)との相互関係一覽表

入学年月日	2008年4月1日
学部・研究科名	教育学部
学科・専攻等名	実践臨床教育課程
コース等名	人間教育学コース

教育学部の教育目的(具体的に記述・箇条書き)		実践臨床教育課程の教育目的(具体的に記述・箇条書き)		人間教育学コースの教育目的				
学校教育および社会のさまざまな分野において教育の素養をもって貢献できる人材の養成を目的とする。		1. 人間教育の意義を常に問い続け、時代を超えた教育の理念とともに時代に応える教育の在り方に関心をもち、学校教育、生涯教育などの幅広い分野で貢献する意欲をもつ人材を養成する。		現代社会における人間形成上の諸問題を分析し、あるべき教育の姿を追究するとともに学問的裏づけに基づいた教育実践力をもって社会に貢献することができる人間を養成する。				
実践臨床教育課程人間教育学コースのカリキュラム		実践臨床教育課程のGraduation Policy(GP) (◎=GP達成のために、特に重要な事項、○=GP達成のために、重要な事項、△=GP達成のために、望ましい事項)		人間教育学コースのGraduation Policy(GP) (◎=GP達成のために、特に重要な事項、○=GP達成のために、重要な事項、△=GP達成のために、望ましい事項)				
授業科目名	授業科目の主題(箇条書き) (この授業科目における中心となる題目・問題・テーマ等を箇条書きに記入する。)	授業科目の到達目標(箇条書き) (この授業科目の学習後に到達すべき最低限の(性的)目標を学生が主体で行い、教師が補助して(箇条書きに記入する。)	1. 人間教育学の専門領域(この授業科目の学習後に到達すべき最低限の(性的)目標を学生が主体で行い、教師が補助して(箇条書きに記入する。)	2. 心理学の研究方法、心理学および心理臨床の専門領域(この授業科目の学習後に到達すべき最低限の(性的)目標を学生が主体で行い、教師が補助して(箇条書きに記入する。)	1. 教育哲学、教育史、教育社会学、教育方法学、教育心理学、社会教育学の基礎的な学問領域・方法を説明できる。	2. 子どもや教育についての問題意識を持つことが出来る。	3. 子どもや教育に関して自ら設定した問題について、上記のいずれかの学問領域の研究手法を用いて、分析し考察することができる。	4. 考察した結果を、口頭あるいは文章によって論理的に表現することができる。
総合演習	人類に共通する課題や日本社会に関わる課題について学ぶ。	1. 人類や日本社会の課題を理解し、説明できる。 2. 上記の課題を分析・検討し、自分の意見を持つことができる。 3. 上記の課題についての自分の意見を相手に応じて分かりやすい形で伝えることができる。	1. ○ 2. ○ 3. ○		1. ○	2. ○		3. ○
人間教育学研究法I	人間教育学の研究内容と方法に関して、概説する。	1. 教育哲学、教育史、教育社会学、教育方法学、教育心理学、社会教育学の基礎的な学問領域・方法を説明できる。 2. 教育哲学、教育史、教育社会学、教育方法学、教育心理学、社会教育学の複数領域の視点から、日常的に教育や子どもの問題に関心をもちることができる。 3. 卒業論文を作成することを視野に入れて、教育や子どもの問題を主体的に考察することができる。	1. ◎ 2. ◎ 3. ◎		1. ◎	2. ◎		3. ◎
人間教育学研究法II	卒業論文作成に向けて各自のテーマに従って研究を深める。	1. 各学問領域における学術テーマを正確に把握できる。 2. 各学問領域における研究方法を正確に習得できる。 3. 各自のテーマに対して日常的に関心をもち続け、その問題解明に主体的かつ積極的に研究に取り組むことができる。	1. ◎ 2. ◎ 3. ◎		1. ◎	2. ◎		3. ◎
教育哲学	1. 教育哲学の学問的性格 2. シュプラングラーの生涯と教育哲学 3. シュタイナーの教育哲学とシュタイナー学校の教育	1. 教育哲学の学問的性格が理解できる。 2. シュプラングラーの生涯と教育哲学が理解できる。 3. シュタイナーの教育哲学とシュタイナー学校の教育の特色が理解できる。	1◎ 2◎ 3◎		1◎ 2◎ 3◎	1◎ 2◎ 3◎		1◎ 2◎ 3◎
教育哲学演習I	1. シュタイナーの教育哲学と発達段階論 2. シュタイナー学校の教育の特色と授業 3. シュタイナー教育の評価観と教育観	1. シュタイナーの教育哲学と発達段階論が理解できる。 2. シュタイナー学校の教育の特色と授業方法を理解できる。 3. シュタイナー教育の評価観と教育観を理解できる。(改行挿入)	1◎ 2◎ 3◎		1◎ 2◎ 3◎	1◎ 2◎ 3◎		1◎ 2◎ 3◎
教育哲学演習II	1. 教育哲学研究の進め方と論文構成の仕方 2. テーマに沿ったレポート、論文のまとめ方 3. 教育哲学研究への関心と意欲の高揚	1. 教育哲学研究の進め方と論文構成の立役者が理解できる。 2. テーマに沿ったレポート・論文のまとめ方ができる。 3. 教育哲学研究への関心と意欲を高めることができる。	1◎ 2◎ 3△		1◎ 2◎ 3△	1◎ 2◎ 3△		1◎ 2◎ 3△
教育史	1. 日本の教育の理念・思想の歴史的展開 2. 日本の教育の歴史的性格	1. 日本の教育の理念・思想の歴史的展開について説明できる。 2. 授業で取り上げた問題について自分の意見を述べることができる。 3. 日本の教育の歴史的性格について説明することができる。	1. ◎ 2. ◎ 3. ◎		1. ◎ 2. ◎ 3. ◎	2. ○		
教育史演習I	現代日本の教育の現実や問題点を歴史的に考察し、著作物を講読する。	1. 日本教育問題の歴史的起源・構造について説明できる。 2. 授業で取り上げた問題について自分の考えを論理的に述べる事ができる。 3. 教育を歴史的に考察しようとする事ができる。	1. ◎ 2. ◎ 3. ◎		1. ◎ 2. ◎ 3. ◎	2. ○		2. ◎
教育史演習II	学生各自研究テーマを設定し、研究資料の収集と分析を行う。	1. 教育史の研究方法が説明できる。 2. 資料を多面的に検討できる。 3. 教育に関する関心をひろげ、問題意識を深めることができる。	1. ◎ 2. ◎ 3. ◎		1. ◎ 2. ◎	3. ◎		1. ◎ 2. ◎
教育原理	1. 教育の基本的性格 2. 教育の理念・目標とそれを支える思想の歴史的展開	1. 教育の理念・目標、思想、歴史について説明できる。 2. 授業で取り上げた問題について自分の意見を述べることができる。	1. △ 2. △		1. △	2. △		
教育社会学	本講義では、単独集団における子どもの社会的発達(=社会化)について理論的・実証的に理解するとともに、教育社会学的研究の基礎をつくる。	1. 社会化概念について説明できる。 2. 子ども発達に対する単独集団の実証的課題について説明できる。 3. 講義中で触れた領域について自分の意見を論理的に展開できる。 4. 現代社会における子ども「教育」問題を指摘できる。またその出現・解決のメカニズムについて自分なりに解決しようとする意志を示す。	1. △ 2. ◎ 3. ○ 4. ◎		1. ○ 2. ◎ 4. △	3. △ 4. ○		3. △ 4. △
教育社会学演習I	現代の子どもに関わる社会問題の解決の領域を取り上げて、それに関する教育社会学的研究のテキストを受講者で分担講読し、担当者が輪読した後に受講者全員で質疑討論に入る演習形態をとる。	1. 教育社会学の基礎的知識・用語を理解できる。 2. 教育社会学的研究方法を習得できる。 3. 現代的な教育問題について教育社会学の視点から説明できる。	1. ◎ 2. ◎ 3. ◎		1. ◎ 2. ◎	3. △		1. ◎ 2. ◎ 3. ◎
教育社会学演習II	受講者自身の問題関心に基づく領域を取り上げ、それに関する教育社会学的研究のテキストを受講者で分担し、担当者がレジュメを作成して各自1人1人に全員で質疑討論に入る演習形態をとる。	1. 現代的な教育問題について把握できる。 2. 問題発見のメカニズムについて教育社会学的研究視点から説明が出来る。 3. 問題解決志向的な意識を展開できる。	1. ○ 2. ◎ 3. ◎		2. ○ 3. ◎	1. ◎		2. ◎ 3. ◎
教育方法学(教育課程、情報組織及び教材を含む)	1. 授業の基本原則 2. 主体的な学びの成立と指導 3. 教育課程の編成	1. 授業が持つ4つの基本的性格について理解し、説明できる。 2. 授業・主体的な学びの呼び起こす指導の諸技術について説明できる。 3. 教育課程の編成原理と方法について理解し、説明できる。	1. ◎ 2. ◎ 3. ◎		1. ◎ 2. ◎ 3. ◎	1. ○ 2. ○		
教育方法学演習I	1. 教育方法学研究の基礎	1. 教育方法学の理論に関する文献の講読を通して、教育方法学研究の基礎知識を習得する。 2. 教育方法学研究の方法論を理解する。	1. ◎ 2. ◎		1. ◎ 2. ◎	1. △ 2. △		1. ○ 2. ○
教育方法学演習II	1. 教育方法学研究に関する学習の発展とまとめ	1. 授業や学級指導に関する実践事例の分析を通して、自分なりの視点で問題・課題を整理することができる。 2. 整理したものをレポート等で的確に説明できる。	1. ◎ 2. ◎		1. ○			1. ◎
教育調査法	1. 教育調査法の基礎を学び、それに基づいて実証的調査を実施し、その結果から分析・考察まで一連の作業を理解する。	1. さまざまな調査方法について、その長所・短所をきめてそれぞれ理解できる。 2. 問題関心に関連した調査方法を適切に選択できる。 3. 疑問に感じたことを実際に自分で調査しようとする意欲を醸成し、実践することができる。	1. ◎ 2. ◎ 3. ○ 4. ○		1. ◎	2. ○ 3. ○		2. ○ 3. ○ 4. ○
教育制度	1. 学校教育には様々な「制度」、「仕組み」が存在している。それらについて、テキスト、ビデオ、配付資料をベースに解説し、基本的な講義形式の授業だが、適宜意見を求めることがある。	1. 学校教育を中心とする教育制度の概要が理解できている。 2. 教育制度の特徴や課題について自ら具体例をあげながら議論することができる。	1◎ 2◎		1◎	2◎		
教育制度演習I	学校を中心とした教育制度改革について、知た英文文献などに基づきながら、検討する。	1. 教育制度改革に関する基本的な知識を保持し、理解している。 2. 自らが考える教育制度改革を具体的に提示することができる。	1◎ 2◎		1◎	1◎		2◎

教育制度演習II	1. 教育制度演習を履修し、各自、興味関心に応じたテーマを設定する。 2. その後、資料収集、調査研究を行い、随時進捗状況を報告する。 3. 最終に、そのテーマについての発表を行う。	1. 選択したテーマ及びそれに関連する基本的な知識を理解している。 2. また、そのテーマについて、これまで研究上向が明らかになされ、何が明らかになっているか、研究上の課題は何かについて理解している。 3. 選択したテーマ及び自ら行った研究について建設的かつクリティカルな見方ができる。 4. 今後、自分にとっての課題が何であるのかを明確に認識できている。 5. 選択したテーマについて旺盛な関心をもっている。 6. 発表への出席状況が良好であり、自他の発表において積極的な態度を示している。 7. 発表を行う際、分かりやすく発表するように努めている。	10 20		10 20	10 20	30 40 50	60 70
教育法規	1. 教育法規を初めて学ぶ者を対象に、現行教育法規の要点をできるだけ分かりやすく解説する。	1. 現行教育法規の要点が理解できている。	10 20		10	20		
社会教育	1. 生涯学習の観点から社会教育を方向づけるとともに、社会教育の各分野の基本的事項と課題について説明する。	1. 生涯学習のねらい、キー概念などの基本的事項について理解できる。 2. 社会教育の各分野の概要と課題について理解できる。	10 20		10 20	10 20		
社会教育演習I	1. 生涯学習の観点から、社会教育の各分野の課題について演習を行う。	1. 社会教育の各分野の課題について十分理解できる。 2. 社会教育の各分野の課題について各自発表できる。	10 20		10 20	10 20	10	20
社会教育演習II	1. 社会教育の基本的課題に関して、テーマを設定して演習を行う。	1. 設定されたテーマについて主体的に取り組むことができる。 2. 学習成果をまとめて発表できる。	10 20		10	10 20	10	20
発達心理学	1. 人間の発達の原因・要因について理解を深める。 2. 発達段階及びその発達課題について学習する。 3. 学校・家庭・地域など身近な場面での子どもの発達と捉え直す。	1. 自己の理解の上に立ち、発達心理学的知識を種々に吸収する。 2. 習得したテーマを主体的に受け入れ、自ら考え、判断できる。 3. 日常生活に密着した興味・関心のある内容に主体的に取り組む。 4. 心理学的研究の方法や分析など基本的な手法について理解できる。 5. 心理学を科学として位置づけることができる。	1.0 2.0 3.0 4.0 5.0		1.0 4.0	3.0	2.0	
教育心理学	1. 学校における教育活動において子どもをどのようにとらえるべきかを概観する。 2. 児童・生徒の発達・学習の原理、個性の理解、さらに障害児生徒の心理、教育評価についてデータに基づいて説明する。 3. いろいろな指導法や心理療法について概観する。	1. 子どもへの援助的な指導のあり方について理解できる。 2. 児童・生徒の発達と学習の原理、個性の理解、さらに障害児生徒の心理、教育評価における理論について、データに基づいた見方ができる。 3. いろいろな子どもに沿った指導法や心理療法があることを理解できる。	1.0 2.0 3.0		1.0 3.0	3.0	2.0	
学習心理学	1. 教育事における「学習」の基本的な捉え方と内容について概観する。	1. 学習心理学がどのようなものであるかについて理解できる。	1.0		1.0			
カウンセリング論	1. カウンセリングの基本的な枠組みやさまざまな理論・技法について学ぶ。	1. カウンセリングの基本的な概念や理論および技法について説明することができる。	1.0		1.0			
障害児の心理	1. 発達障害について、その障害の心理学的背景、発達に及ぼす影響、認知発達に及ぼす影響、パーソナリティ・社会性に及ぼす影響、指導法の概観について概観する。	1. 発達障害の心理学的背景、発達に及ぼす影響、認知発達に及ぼす影響、パーソナリティ・社会性に及ぼす影響、指導法の概観を説明できる。 2. 代表的な指導法の概観を説明できる。 3. 障害のある児童生徒の心理に関する関心を高め、望ましい指導のあり方を探求する態度を身につける。	1.0 2.0 3.0		1.0 2.0	3.0		
障害児教育原理	1.前半は特殊教育諸学校(盲学校・聾学校・養護学校)並びに小学校・中学校の特殊学級及び一般学級に在籍する障害児(特別な支援を必要とする児童生徒)への教育の意義、教育史、発達過程、教育課程、制度改革、今後の展望等について講義する。 2.後半からは学校教育現場等での具体的な指導事例や取り組みの内容について視覚聴覚機器等で紹介しつつ、障害児教育の基本原則である「個別化指導」の理論と実践の融合をばか。	1. 障害児教育(特別支援教育)の概念、歴史、教育課程等を説明できる。 2. 障害児教育の基本原則である「個別化指導」の具体を説明できる。 3. 障害児教育における歴史と現状をふまえたつ、今後の課題を指摘できる。 4. 障害児の生涯を見通した教育への関心を高め、学校教育段階における望ましい指導のあり方を探求する態度を身につける。	1.0 2.0 3.0 4.0		1.0 2.0	4.0		
障害児福祉	1.障害福祉法と知的障害者福祉法を中心に、障害児・者の福祉史、福祉施設サービスや行政サービスの内容、地域生活の実現に向けた支援のあり方、21世紀のわが国に障害児・者福祉のあり方等について講義する。 2.社会福祉施設等における支援内容や、就労を支える支援内容等について視覚聴覚機器等で紹介しつつ、理論と実践の融合をばか。	1. 障害児・者福祉の概念、歴史、福祉施設サービスや行政サービス等を説明できる。 2. 地域生活の実現に向けた支援を説明できる。 3. 障害児・者福祉における歴史と現状をふまえたつ、今後の課題を指摘できる。 4. 障害児の生涯を見通した支援のあり方への関心を高め、学校教育段階における望ましい福祉的支援並びに雇用に向けた支援との連携のあり方を探求する態度を身につける。	1.0 2.0 3.0 4.0		1.0 2.0	4.0	3.0	
幼児教育基礎	幼稚園教師になるための要件や幼児教育の基礎概念、保育思想の歴史や幼児教育を支える理論を紹介する。	1. 学校教育法の中の幼児教育に関する用語を理解し説明できる。 2. 幼稚園の保育と関係教育論を理解できる。 3. 幼稚園教育要領総則の遊びや体験の位置づけと関係教育の構造を理解し説明できる。 4. 幼児の自主的な活動を生み出す間接指導法の発想と方法を身に付ける。 5. 教員に就く学生として必須の時間厳守等のマナーと授業参加態度を身に付ける。	1.△ 2.△ 3.△ 4.△ 5.△		1.△ 2.△ 3.△ 4.△ 5.△	5.△		
幼児教育メディア	情報機器を用いた教材製作として、ノートパソコンを用いてWEB絵本を製作する。	1. 画面ツールや音声入力ツールを使いこなすことができる。 2. 幼児の好奇心や音を追求する力を培う。 3. コンピュータメディアへの関心を高め、メディアを楽しむ。 4. こだわりを持って積極的に作品制作に取り組むことができる。 5. 様々なソフトに対応できる柔軟な基礎力を身につける。	1.△ 2.△ 3.△ 4.△ 5.△		1.△ 2.△ 3.△ 4.△ 5.△	3.△ 4.△		
幼児心理理解	乳幼児期の子どもを心理を理解するための基礎的事項および研究方法等について概観する。	1. 乳幼児期の発達に関する基礎的事項について説明することができる。 2. 集団での討論に積極的に参加することができる。	1.0 2.0		1.0	2.0		
卒業研究	各自の問題関心に応じたテーマを設定し、資料を収集・分析し仮説を検証して論文にまとめる。	1. 資料を多面的に検討することができる。 2. 必要な資料をなるべく多く収集することができる。 3. 自身の結果を適切な文章にまとめることができる。	1.0 2.0 3.0		1.0 2.0		1.0 2.0	3.0
GP項目別到達度判定方法(具体的に記述・添削書)								
総合的GP到達度判定方法(具体的に記述・添削書)								